



【学校教育目標】「人間性豊かな心を持ち 実践力のある生徒の育成」
— 気付き、生かす —

若松中だより

千葉市立若松中学校
校報
第 48 号
令和 3年 1月 8日

緊急事態宣言の再発出を受けて

校長 古市 直彦

新型コロナウイルス感染症の新規感染者数の急激な増加に伴い、政府から1都3県に緊急事態宣言が再発出されましたが、文部科学省・スポーツ庁・文化庁からは、「学校においては、地域の感染状況を踏まえ、学習活動を工夫しながら、可能な限り、学校行事や部活動等も含めた学校教育活動を継続し、子供の健やかな学びを保障していくことが必要」という通知が出ており、千葉市でも前回の緊急事態宣言時のように休校措置はとりません。

しかし、現段階での感染状況は家庭内感染が多く占めていることから、市教委の指示により、保護者や地域の方が来校して実施する授業参観と1年生出前講座については、本年度は実施せず、新入生保護者説明会、新入生体験入学会、学校評議員会は資料配付・提供での開催とさせていただきます。

また、「感染症対策を講じてもなお感染のリスクが高い学習活動」として挙げられる以下の活動について、当面の間行わないこととします。

- ・各教科等に共通する活動として「生徒が長時間、近距離で対面形式となるグループワーク等」及び「近距離で一斉に大きな声で話す活動」
- ・理科における「生徒同士が近距離で活動する実験や観察」
- ・音楽における「室内で生徒が近距離で行う合唱及びリコーダー等の管楽器演奏」
- ・美術、技術・家庭における「生徒同士が近距離で活動する共同制作、鑑賞の活動、調理実習」
- ・保健体育における「児童生徒が密集する運動」や「近距離で組み合ったり接触したりする運動」

また、部活動に関しては、当面の間、千葉市全体として次のように取り組むことになりました。

- ・放課後1時間程度、平日のみの活動とする。朝練習はなし、週3～4回程度の実施とすること。
- ・対人練習・2人程度での活動とし、約2mの間隔をあけて実施すること。
- ・接触を伴う運動は避けること。
- ・合唱や合奏では、向き合っの活動は避けること。
- ・運動部活動については、活動中マスクの着用は必要ないが、十分な身体的距離が取れない状況（話し合いの場面や着替え等）で、十分な呼吸ができなくなるリスクがない場合には、マスクを着用すること。（顧問はマスクを着用）
- ・活動中もこまめに手洗いを行うこと。
- ・練習試合、合同練習、演奏会などについて、無観客であっても行わないこと。また、各種競技協会・連盟が主催する大会等にも、参加しないこと。

今後も、体温管理や手指の洗浄消毒、ディスタンスの確保等に配慮しながら、学校生活を進めて参りたいと思っています。よろしくお願ひいたします。また、感染が不安で欠席させたい場合は、保護者の方が直接学校（教頭）にご相談ください。

また、緊急事態宣言の発令に伴い、「公民館、南部青少年センターの自習室の開放」「生涯学習センター、公民館、南部青少年センターの夜間貸出」「図書館の自習室や読書室の利用」は休止となりますので、あわせてお知らせいたします。



主な行事の様子です

3年生激励会（12月5日～19日）

いよいよ受験本番を迎えている3年生に、各部活動の部長や生徒会長からのメッセージとエール、合格祈願の鉛筆が贈られました。校内放送を使ったテレビ画面を通しての激励会でしたが、精一杯の気持ちを込めて行いました。頑張れ3年生！ 応援してます！！



3年私立高校出願（1月6日）

私立高校ではWeb出願の学校が増えていますが、郵送による出願も多いです。本来ですと、受験生が各自で郵便局の窓口まで行って出願をするのですが、千葉小倉台郵便局様のご好意で、局長様他1名が来校され校内に特設の窓口を開設してくださいました。

生徒がわざわざ出かけないですんだ上、確実に申し込めることができました。外部との不要な接触をさせることもできました。ありがとうございました。

